

平成 28 年度 南山形地区

市長を囲んでの市政懇談会

日 時 平成 29 年 2 月 10 日（金） 午後 3 時
場 所 南山形コミュニティセンター多目的ホール
司会進行 横沢正巳 地区振興協議会総務部会長

次 第

- 1 開会の挨拶 石井 慶市 地区振興協議会副会長
- 2 主催者挨拶 斎藤 章 地区振興協議会 会長
- 3 市長挨拶
- 4 来賓紹介

山形市議会議員 須貝 太郎 様
同 伊藤 香織 様
同 高橋 公夫 様
南山形コミュニティセンター
所長 須藤 善友 様

5 山形市よりの出席者紹介

山形市長 佐藤 孝弘 様
総務部長 岩田 雅史 様
企画調整部長 庄司 新一 様
まちづくり推進部長
渋谷 誠一 様
総務部次長（兼）広報課長
鴨田 尚史 様
教育委員会スポーツ保健課長
石川 一幸 様
広報課広報戦略担当
佐 藤 泉 様
広報課地域振興係長
清 野 開 様

6 市政懇談会

- 7 閉会の挨拶 須貝 正美 地区振興協議会 財務部会長

2. 主催者挨拶 (斎藤章 南山形地区振興協議会 会長)

本日は、「南山形地区 市長を囲んでの市政懇談会」にご参加いただき誠にありがとうございます。

私は、只今ご紹介いただきました南山形地区振興協議会の会長をしております、斎藤と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、佐藤市長におかれましては公務ご多忙のなか、おいでいただきまして誠にありがとうございます。

本日は、昨年同様に佐藤市長をお迎えして、南山形の地域の課題、要望について佐藤市長に回答をいただきながら、短時間ではありますが、懇談いただければと思います。

また、本日は、岩田総務部長、庄司企画調整部長、まちづくり推進部長、教育部長と主要4部門の担当部長の勢揃いであります。素晴らしい人材の方々です。なお、阿部部長につきましては、本日急遽別件で欠席となり、代理で石川スポーツ保健課長に出席いただいております。

さて、昨年を振り返ってみますと、ご案内のとおり、南山形地区に誘致の様々な要望活動を展開してまいりました屋内型遊戯施設の設置が、東北文教大学周辺の適地にと決りました。

これまでの一連の誘致要望活動は、ちょうど1年前の「南山形地区 市長を囲んでの市政懇談会」が正式決定に到る、要望活動の最初の一步でございました。

当時、佐藤市長が公約に掲げた屋内型遊戯施設を南山形地区に是非作って欲しいという要望を直接要望したものでありました。

以来今日まで、役員による要望活動に加え、地区民全体の署名活動等の取り組み、総勢4,028人の地区民の支持をいただき、市に提出いたしました。

現在は、計画中の施設の整備や機能、つまりは、こんなことが出来たらいいとか、こんな仕組みがあったらいいとか、こういうものがほしいななどの希望、要望の緊急アンケート調査を実施しております。

これは、行政側から一方的に用意される施設ではなく、自分たちの欲しい施設、利用したい施設、われわれ目線、すなわち利用者目線、利用者ファーストといいますか、実際に利用する子供たちやその家族、さらには、障がいをもつ子供たちやその関係者など、普段要望、意見などを聞けない各団体にもお願いをしております。各団体にも提言をできるだけ早急にまとめ、佐藤市長にお伺いしたいと思っております。

南山形地区振興協議会にとりましても、今回の整備に併せた交通軸の交流拠点化の促進を大きな柱に据え、又JR蔵王駅活用による公共交通機関の利用と連携を図るため

にも、西口の開発が不可欠と考えております。

周辺のユニバーサルデザインのことなど、当初から企画を持ち込めるよう働きかけていきたいと思っております。

本日は、先ほど申し上げましたとおり、1月上旬に南山形地区の要望事項について事前に市に提出しております。

- ・山形市の発展計画の位置づけについて
- ・蔵王駅に西口の建設を
- ・羽州街道及び関連道路の整備について
- ・防犯防災、交通安全の確保について
- ・河川の整備について
- ・スポーツコミュニティ施設の早期完成等について

の項目について要望を申し上げます。

なお、時間の都合もございますので、何点かに絞りまして懇談いただきます。

結びに、この度の「南山形地区 市長を囲んでの市政懇談会」が南山形地区の発展に寄与し、併せてご参会の皆様のさらなるご活躍をご祈念申しあげまして、主催者からの挨拶にかえさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。

3. 山形市長の挨拶

皆さん、こんにちは。山形市長の佐藤孝弘でございます。

本日は「南山形地区の市長を囲んでの市政懇談会」にお招きをいただき本当にありがとうございます。

市長、そして市の幹部職員が、地域の皆様にこうして直接顔を合わせて、意見を交わすことは、我々にとっても、貴重な機会をいただいたと思っております。

皆さんから、大変熱意を持ってご要望いただきました、また、市全体のなかでの、子育て政策の観点から、市南部地区への設置を公約として掲げておりました「屋内型児童遊戯施設」の建設を南山形地区に建設させていただきたいと決断をさせていただきました。

いろんな意味で、もともと教育関係施設の多い地区でもありますし、蔵王駅もありますし、いろんな要素を含め、適した場所であると思っております。

せっかくですから、先ほど、会長さんからもお話がありましたように、地域の核、南部地区の核となるような施設になるよう皆様のご意見もお聞きしながら、より良いものにしていきたいと思っているところであります。

こうした場所を出発点として、地域の方だけでも駄目ですし、行政だけでやってもまちづくりはうまくいきません。やはり車の両輪のように、地域のみなさんと行政と一緒に方向性を揃えて本腰を据えて取り組んでいくことが大事と思っておりますので、今日も、そんな機会とさせていただきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

6. 市政懇談会

1. 28年3月に策定された山形市発展計画について

当地区は古くから羽州街道沿いに南北に長い形で発展してまいりましたが、みはらしの丘や蔵王駅西の状況の変化によって、東西に発展の幅が広がりつつあります。

線から面への発想の転換期にきていると考えております。10月の都市計画意見交換会でもご説明をいただいているところではありますが、現在までの進捗状況や見通しなどを、当地区や南部地区とのかかわりの中でお聞きしたい。

(佐藤山形市長より)

山形市発展計画の当地区(南部地区)との関わりのなかでの進捗状況について答えさせていただきます。

昨年2月に山形市発展計画(新しい経営計画)を策定いたしました。

そこで、健康医療先進都市の推進、仙山交流の推進、定住人口、交流人口の拡大といったような市の柱となるような大きな目標を掲げさせていただきました。それに基づいて、この一年間、発展に向けての種蒔きをしてきたと思っております。

南山形地区をはじめとする南部地区とのかかわりにおきましては、先程の屋内型児童遊戯施設の設置箇所については、東北文教大学の西側に決定したほか、山形市初となる「道の駅」の設置の一つとして、山形上山インターチェンジ付近を決定しております。

両方とも地域のご意見をいただき着実に推進していきたいと考えております。

また、防災ラジオの配布事業につきましては、今年度の融雪型火山泥流避難区域に続きまして、来年度は津金沢の一部が該当いたします土砂災害計画区域を対象に配付する予定で進めてまいります。

みはらしの丘の分譲も順調に進んでおりまして、児童数も増加していることから、みはらしの丘小学校増設に向け、29年度に設計を行う予定です。
産業用地の分譲はお陰様をもちましてすべて完了となっております。

非常に大きな部分として、現在すすめている都市計画マスタープランに合わせて、市街化調整区域の開発行為制度の見直しを行っているところであります。こちらにつきましては、市街化調整区域の集落の中にある空き地や畑とか、そうしたところに、これまで家を建てたいという時に建てられなかった箇所がたくさんございます。

これを山形市の権限で可能な規制緩和を行って、たとえばそこに、皆さんの息子さんが家を建てて戻って入れるような、そんな規制緩和を、3月議会において提案をさせていただきいと思っております。

南山形地区でも最低でも200戸分位、家を建てられる用地を作っていきたいと思っております。

だからと言って、家が建つというわけではありませんが、規制緩和を活かしていただいて皆様の方でも地域活性化を考えてもらいたいということでございます。

様々申し上げましたが、他の地区には、何で南山形地区だけいろんなことがあるのだと羨ましがられるような状況だと思っております。

これから各種事業を着実にすすめていきたいと思っておりますので、地区の皆様方のご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

6. 市政懇談会

2. 蔵王駅に西口の建設を

蔵王駅西地区に住宅団地が造成され、これまでの企業団地的なイメージから大きく変わりつつあります。

また、東北文教大学付近に新たな児童遊戯施設も建設されることになっていますが、JR 蔵王駅に近く鉄道利用も見込めるほか、蔵王駅西地区にある東北文教大学の学生、山形聾学校や村山特別支援学校、更には山形聾学校の寄宿舎を利用する予定になっている山形盲学校の生徒にとっても必要不可欠なものであります。

これまで JR 蔵王駅を利用している南山形地区西部(津金沢・谷柏・みはらし)、本沢地区住民にとっても、西口が整備されれば一層便利になると思われます。さらに東西自由通路ができることにより、東西の交流が今以上に推進され、現蔵王駅前地区の活性化も図られることになるのでぜひお願いしたい。

(佐藤山形市長より)

蔵王駅に西口の建設をということでございます。

これは、JR 東日本が鉄道事業者ということで、新しい改札口や自由通路など新しい鉄道施設設置については、負担は全額、地元自治体で行うということであります。

市として、その方針を定めればそれに応じて JR において検討するというものであります。

蔵王駅の乗車率をみてみますと、例えば、北山形駅と比べると、まだ少ない状況にありまして、今すぐこの西口を造ることは難しいと思っておりますが、ただ、今後、新たな開発とか、先程申し上げた屋内型児童遊戯施設の設置によって、おそらく駅の利用、使い方も変わって来るのではないかなと思っております。

そういった実態をみながら検討していきたいと思っております。

6. 市政懇談会

3. 道路に関する要望

◎羽州街道及び関連道路の整備について

みはらしの丘の戸数増加、蔵王駅西の住宅団地の造成などにより、上山天童線（西回りバイパス）の交通量が日増しに多くなっております。

それに伴い羽州街道や周辺の道路が混雑しております。

特に朝夕などは、う回路として利用する車が増加し、児童生徒の通学路と重なり危険な状況も頻繁にみられるようになりました。

つきましては、次のようなことをご検討いただきたいと思います。

- ③ 半郷黒沢線の蔵王工業団地への通り抜け車両が多く、福田橋以西の拡幅が遅れていることから、児童生徒の通学路とのかかわりで早急な対応が望まれる。

（ 佐藤山形市長より ）

市道半郷黒沢線の道路改良事業につきましては、平成 28 年度は、用地買収と移転物件補償を実施しておりますが、現在 7 件残っております。

29 年度も引き続き、用地買収、物件補償を進めていく予定です。

早期完成に向けて努力して参りますので、ご協力をお願いします。

6. 市政懇談会

3. 道路に関する要望

◎羽州街道及び関連道路の整備について

④ 旧羽州街道と西バイパスを結ぶ松原から津金沢に向かう道路の拡幅整備の完成を急いでいただきたい。

（ 松原から奥羽線踏切、西バイパス以西 津金沢線地内路肩整備 ）

（ 佐藤山形市長より ）

旧羽州街道と西バイパス道路を結ぶ「市道小松原北線」道路改良につきましては、平成 26 年度から西バイパス側から工事着手をして、28 年度に JR 津金沢踏切までの西工区工事が完了いたしました。

29 年度につきましては、東工区の移転物件補償を進めていく予定としております。

また、津金沢地内 路肩の整備につきましては、積雪もあり、現地確認が出来ませんでした。雪がとけましたら現地調査を実施し、整備を検討させていただきます。

6. 市政懇談会

3. 道路に関する要望

◎羽州街道及び関連道路の整備について

- ⑤ 旧羽州街道から片谷地公民館を通り、西バイパスを突き抜け、上谷柏までの道路拡幅は、地区民のアクセスはもとより村山特別支援学校・山形ろう学校にとっても有用である。

(佐藤山形市長より)

要望にありました路線のうち、片谷地公民館から西バイパスを横断し市道前明石花川線の区間につきましては、平成6年度から平成21年度までの事業期間内で整備を完了しております。

旧羽州街道から片谷地公民館までもこちらの改良事業に含まれておりましたが沿線地権者からの同意が得られず、整備を断念した経緯があります。

そうしたことから、計画がないという状況です。

また、西側の上谷柏地内につきましては、ほとんど農道でありまして、市道認定していない状況であります。

今後も山形市全体の中で、事業効果などを判断しながら検討してまいりたいと思います。

こちらも、屋内型児童遊戯施設の設置によりまして、車の流れが異なることになることも大きな要素になると思っております。

6. 市政懇談会

4. 防犯防災・交通安全の確保について

- ③ 上谷柏地内の谷柏橋が水害による橋脚流出のためなくなってから数年たちますが、旧橋両側(本沢側も)の住民は非常に不便をきたしております。

緊急車両の出入りも一方に限られ、緊急事態に十分対応できない状況にあります。

地区民の生命・財産を守るためにも補強整備による谷柏橋の復旧をお願いいたします。

また、山形聾学校グランド建設に伴うフェンス工事で、金網でなく高さ 3 m ぐらいまでトタンが張られたため視認性が悪くなった。

横断歩道はできたものの、北からの車が歩道まで出ないと右からの車や人を確認できなくなった。

地区民や九中生の自転車利用が多数あり、小・中学生の通学路にもなっていることから、早急な対応をお願いいたします。

(佐藤山形市長より)

- ③ 谷柏橋につきましては、1 年前にも要望をいただいて、それと同じ答えになって、申し訳ございませんが、河川管理者である村山総合支庁と修繕方法について協議を行いました。

橋げたの補強復元については、木の部分を鉄製に替えても河川道路管理施設に不適合のため認められないということでありました。

そのことから、自動車通行ができるようにするのは不可能であります。

自動車が通行可能な橋にするためには、はしの架け替えが必要となり、そうならば、1. 5 m 高くなることから、周辺地権者の方から協力をえなければなりません。

自宅から道路への出入れが困難になる場所も発生することとなります。

現在、陸橋があることから、周辺の交通量を含めて、現状の自転車と歩道の橋としてご利用いただきたいと思っております。

どうか、昨年同様の回答で、申し訳ありませんがご理解をお願いしたい。

次に、ろう学校のグランドフェンスについてですが、何故フェンスを設置したのかを学校に伺ったところ、生徒がグランドを使用する場合お互いに先生の言葉を聞き取れるように防音を目的としており、先生の声が聴きとれる安全対策ができるか、という点で撤去が難しいという話でした。

安全対策を前提としながら、関係機関と協議をしたいと考えております。

6. 市政懇談会

5. 河川の整備について

① 治水上のお願い

南山形地区を流れる須川については、蔵王山火山融雪型火山泥流による被害が想定されております。

川幅を広くしたり、川底を平らにしたりするなど南山形地区間の具体的な改修計画を早期に策定していただくとともに、出来次第、情報の開示と資料を提供していただきたい。

早期の改修を切にお願いします。

(佐藤山形市長より)

須川の南山形地区区間は、山形県村山総合支庁の河川砂防課が管理しておりますので、照会したところ、先方の回答は、現在飯塚橋から門伝橋までの2キロ区間を重点整備区間として改修工事を進めております。南山形地区期間を含む上流につきましては、今後の整備となると回答をいただいております。

山形市といたしましては、防災上の観点から早期に河川改修計画の策定と事業着手となるよう山形県へ要望を継続して行ってまいりたいと考えております。

ソフト面の対策としては、蔵王山火山融雪型火山泥流の警戒区域の皆様には、今年度に防災ラジオと蔵王山火山防災マップを配布させていただきました。

今後とも、住民の皆様と相談しながら、避難訓練の実施などいざという時の安全な避難行動につながるような取り組みをすすめていきたいと考えております。

6. 市政懇談会

6. スポーツコミュニティ施設の早期完成について

平成 25 年 7 月 UR 都市機構作成のみはらしの丘分譲パンフレット記載の上記施設について、進捗状況をご説明いただきたい。

この施設は、山形市南部に位置するスポーツ施設がほとんどない中で、南山形地区はもとより山形市民の方々にも大きな期待を持たれている施設です。

是非早期実現をお願いいたします。

(佐藤山形市長より)

従来の計画にあります「みはらしの丘のスポーツコミュニティ施設」につきましては、山形市スポーツ振興計画の実施計画におきまして、当面、用地の有効活用を検討をすすめ、事業に着手していくとしておりますが、具体的な内容については現段階では、未定という状況であります。

平成 29 年度にスポーツ振興計画実施計画の見直し、という作業があります。ここで、市の様々なスポーツ施設の配置や内容についても全体の計画をつくっていく予定でありますので、そのなかでこの場所についても、整理をしていきたいと考えております。

以上が回答となりますのでよろしくお願いいたします。